

同窓会報

NO.50
2007.3

発行 — 〒992-0039 山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会 事務局 TEL 0238-22-0091 FAX 0238-22-0092 <http://www.kunori-h.ed.jp>



クラスマッチ

2006.7.5 男子バスケット

陸上競技部の三十周年連続インターハイ出場のお祝いと、その指導に当たられた本田米子先生、本田恒一コーチへの感謝の会が一月二十八日に開催されました。多くの卒業生や保護者たちが集まり、部の長い歴史を振り返りながら、笑顔が満ち溢れた楽しい会になりました。集まれた皆さんたちは、学生時代の懐かしい時期にタイムスリップして、厳しかったけど愛情に満ちた指導や、辛かつたけど結果が出ることで体験した新しい世界を、懐かしく思い出されたことでしょう。

同じ指導者が、三十年もの長い間、同一校で指導するということは、転勤で指導者が変わる公立学校ではなかなかできないことです。今回私は「本田先生には定年はありません。好きなだけ指導を続けてください」とお伝えしています。と会場の皆さんたちにお知らせしました。実は、本田米子先生は私と同年で、この三月で定年の年齢なのです。公立ならこれまで終わるのでしょうか、ここが私学の面白いところ。まだまだ指導を続けていただけのですから。

八十六歳の学園長九里茂三先生を筆頭に、五島訓二先生や斎藤佳子先生、遠藤岩根先生たちも、まだまだ活躍中です。

まだまだ

頑張ってください

校長 九里 廣志



総会報告

懇親会は 弦楽の生演奏で

平成十八年の同窓会総会は、六月三十日（土）、ホテルサンルート米沢を会場に、百名の出席者があり、今年も盛大に行なわれました。

長沢典子実行委員長（S四十年卒）のもと、当番学年（〇と一のつく卒業年）の方々が準備にあたりました。総会では事業報告、決算予算等が審議されました。今後の活動として、九里祭への参加や音楽会への誘い等、多くの卒業生へ呼びかけられました。

正人先生から『ウコギとともに二十年』と題して、先生の奥深いウコギ研究から、貴重なウコギ秘話をお聞きしました。会場にはウコギ垣、ウコギ茶とウコギせんべいが用意されました。懇親会は、弦楽の生演奏があり、会場の雰囲気に品格が添えられました。

音楽は様々なジャンルがありますが、ゴスペルの魅力は何といつても生の声、それだけでそこにいる人たちと一緒になつて手拍子を取つたり一緒に歌いながら、音楽の楽しさを共有できることなのではないかと思います。ただ聞いていただけではなく、一緒に参加しているという感覚を持つことが出来る、ゴスペルという音楽の魅力を十分に味わうことのできたコンサートでした。

同窓生こそ建学の精神を

同窓生の皆さんには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。またそれぞれの行事には、役員を初め皆様のご協力を賜り、毎回楽しく有効に終了できますことに感謝と御礼を申し上げます。

さて、去る十月二十九日、九里とみ先生の五十回忌の法要が東町の欣淨院でおこそかに営まれ、同総会を代表して前会長の竹田力ツ様と二人参列させていただきました。とみ先生が生涯をとおして願われたことに思いを馳せながら、私たち同窓生こそがその建学の精神を受け継ぐべき活動をしていかなければならぬと、あらためて思いました。

九里学園を応援しながら、自らを磨くことを目標として、今年度も総会や九里祭参加、記念音楽会と意欲的に計画をいたしました。行事それぞれがころ豊かなひとときになりますよう、沢山の方々の参加をお願い申し上げます。

同窓会長 佐藤せつ
(S二十三年卒)

一緒に歌い

楽しさを共有する ゴスペル

記念音楽会 COCORO * CO コンサート



(H16年卒)

小野香保里

私は、大学のサークルのコンサートを友達に誘われて聞きに行つたり、映画を見たことがあるなと思うくらいでしたが、本格的なゴスペルのコンサートには行ったことがなかつたので、楽しみにしていました。

コンサートが始まつた瞬間、会

場に響き渡るハーモニー、聴衆と一緒に手拍子を取ること、軽快な

話術。すぐに私はゴスペルの世界に引き込まれました。誰もが知っている童謡、ゴスペルの名曲等々、大変内容の濃いものでした。

メンバーの一人M I K Iさんは、昭和五十三年の創立記念コンサートに来られた故・立川澄人さんと子供の頃のテレビと一緒に出演されたことがあります。それが来られたので、特別な気持ちになつたそうです。それを聞いて、私は九里の創立記念音楽会の歴史の長さを感じました。

音楽は様々なジャンルがありますが、ゴスペルの魅力は何といつても生の声、それだけでそこにいる人たちと一緒になつて手拍子を取つたり一緒に歌いながら、音楽の楽しさを共有できることなのではないかと思います。ただ聞いているだけでも、一緒に参加しているという感覚を持つことが出来る、ゴスペルという音楽の魅力を十分に味わうことのできたコンサートでした。

あわない カップルの36年

今井 健次

ワイフ を語る

(S43年卒)

今井 久子
御夫妻



よくあることだが、彼女は、私の親友の妹である。私は、若い頃ボウリングに熱中して、帰りは彼女の家である喫茶店にいりびたりしていた。この間の長いつけがたまり、ついにその借金のかたに彼女を嫁にもらうはめになつたのである。

織物卸業のサラリーマンだった私は、自分の仕事を見てもらうため、新婚旅行を仕入先まわりにしたが、二十歳の彼女にとつては驚きの連続であつたと思われる。しかし、徐々にその中味を理解してくれていたようだ。

その業種で私が独立してからは、客商売というプロ精神が彼女をつくりあげ、誰が来てもいい笑顔で接してくれるありがたい。

三人の娘もみんな九里を卒業して、今は孫四人に恵まれて、コーラスを楽しみ、少年補導員のボランティア

をしています。また、着物の着付けをしては着物文化のすばらしさに心打たれるといつている。とにかく充実した日々のようだ。しかし、詳く見ていると、料理は得意だが、掃除、特に草むしりなどは苦手なようで、私く見ていると、料理の出番となつていて、私

どんな占いでも、最凶のカッブルといわれ続けて三十六年、ここまできた私はたいしたものである。

これからは、できる限り人につくすこと二人でいいこうと、静かに思つて

くだり、それぞれ励ましのメッセージをいただきました。

新入会員を代表して理事の佐藤公美さんから「同窓会活動に積極的に参加し、九里の卒業生として頑張っていきます。」という挨拶がありました。同窓生の皆様、どうか温かくご指導下さいます様お願ひ致します。



三十年連続 インターハイ出場達成

陸上競技部は、"やれば出来る"のスローガンと、"みんなで強くなろう"の合い言葉のもと、毎年、インターハイ出場を目指し日々努力しています。お陰様で平成十八年度は、三十年連続インターハイ出場の偉業を、成し遂げる事が出来ました。

個人競技だからこそ、チームワークを大切にし、技ばかりでなく、各自の目標達成の為に一人一人の心の成長を第一に考え、取り組んでいます。学年が上がる毎にその成果も見られ、競技実績に結びついていると思い喜んでいます。

今後も、九里学園の校名を更にアピール出来るよう頑張ります。

(監督 本田 米子 記)



同窓会入会式

三月一日、今年度の同窓会の入会式が行われました。

今年の新会員は、二十四名です。こ

の入会を歓迎するため、卒業生十二名の方が参加して

くだり、それぞれ励ましのメッセージをいただきました。

親子三代 九里です



・鈴木とくさん

(旧姓 加藤 S26年卒)

・鈴木とみ子さん

(S53年卒)

・鈴木保奈美さん

(3年生)

とくさんは戦後間もない昭和二十三年に入学され、米沢女子高等学校と言う名前になつて、初めての卒業生です。「あけくれあおぐ……」という校歌制定には女性声楽家によるお披露目があつたそうです。また、一番記憶に残つているのは、入学後間もなく、市内で催された共進会の準備で、当時空き家になつていて上杉伯爵邸の掃除に行つた際、進駐軍がダンスホールに使つていたため、屋敷のあまりの荒廃ぶりに驚き、戦争に負けた悔しさ、悲しみを強く実感したそうです。毎年同級会で親睦を深めておられ、参加者も増えてきているそうです。

とみ子さんは、通学に一時間半を要するため、運動系の部活に入れず、商業クラスだった事もあり英文タイプ部に所属されました。検定を目指して励まれたそうです。

保奈美さんは、市内での就職を希望して奮闘中です。部活は、文芸部で、文章を書くことが大好きだそうです。教室や校舎を回るうち、次々に懐かしい記憶が蘇り、話がはずみました。

(S五十九年卒 新井千香代 記)

消防士

高橋恵太さん

(H17年卒)

を訪ねて



職 場 訪 間

命をかけて
命を救う

今日は、米沢市消防本部・北部出張所に配属されている高橋恵太さんをお訪ねしました。勤務は二十四時間の交替で、ながら勤務していらっしゃいました。昨年の市内における出動回数は、火災四十五件・交通事故八十件・救急は実に三千四十五件にのぼり、火災原因のトップは寝煙草と冬のストーブだそうです。一番最初の出動のときは、あわててしまい酸素マスクを忘れてしまったそうですね。また、緊張のあまり倒れてしまつた事は、火災の実況見分で天井が崩れ落ち、下敷きになりそうな目に遭つた時のこともあるそうです。今までに怖いと思つた事は、火災の実況見分で天井が崩れ落ち、下敷きになりそうな目に遭つた時のことでも、正に命がけの仕事です。

高校時代は陸上部に所属し短距離でインターハイに出場された経験を持ち、その持ち前の体力・瞬発力を生かし、日々訓練に汗を流していらっしゃいます。また救急救命士を目指し勉強にも余念がないとの事です。彼女をつくる暇もないとの事です。

進路の決定の時に、唯一背中を押してくれたのが担任の上村先生で、今も感謝しているとのことでした。

日々の生活の中で救急車、消防車に会わない日はないほどです。その中で黙々と人の命を救うため働いている同窓生の高橋恵太さんに、心からエールを送りたいものです。(S五十九年卒 新井千香代 記)



九里祭参加 同窓生作品展

2006.8/27

毎年の九里祭に同窓生の作品を展示して、参加しています。今年は七月に亡くなられた加藤孝次郎先生の油絵、写真を賛助展示して頂きました。また、鶴岡在住の方の水墨画も展示了されました。玉ねぎで染めたハンカチを販売したり、体验コーナーでは、かわいい貝のピンクッションを作り、訪れた皆さんと交流することができます、いい雰囲気の展示会場となりました。

建学の精神は「礼譲」に象徴され受け継がれてきました。この時代にこそ、眞の「男らしさ、女らしさ」を培い、お互いに尊重し協同していく心を育てていくことが、九里の教育の柱ではないかなアと思つてゐるこの頃です。



(S17年卒)
鈴木清子さん

(S17年卒)
鈴木清子さん



(S19年卒)
河村よし子さん

長く民生委員を務められ表彰を受けられました。服装は派手にならず、髪は染めないを信条に地域の為に地道な活動を続けられました。高校の思い出は、卒業後一年間、国のために挺身隊に入つた時、九里学校から寮に洋梨を送つて頂き、私立高校ならではの心遣いに感激したことが忘れられないということです。心温まるお話を、温かいお人柄に触れました。

人権擁護委員として多年に亘り貢献されたということで表彰を受けられました。善立寺の奥様としてご住職を支えられ、また書道の先生として長年ご活躍されておられます。高校の思い出は、生徒一同で運軽競技があり、仕上げが下手でいい作品にならなかつたことだそうです。現在のお仕事に対するひと言ひと言に重みがあり、寛容なお人柄に触れました。

おめでとうございます 功労者表彰

行方キヌヨ
(S二十四年卒)

元少女と何十年ぶりに会いました。手土産にと嫁ぎ先の石垣島から持つてきてくれた地酒(焼酎)をいただきながら、青年教師と女子高生にタイムスリップしていました。

お久しぶりです、皆様

小林圭一先生からの メッセージ



ついに還暦を迎えるました。思えば三十八年前、新米教師として九里学園の門をくぐった時は生意氣盛りでした。いきなり二年生の担任です。初めて立つた教壇、その眼前には「ギカラナイ」娘ばかり五十人!! 日夜、火花を散らした戦い(?)が続いたけど、クラスマッチ総合優勝するなどで苦労がフツ飛んだものでした。昨年クラス会で、一番世話を焼かせたと自他共に認める元少女と何十年ぶりに会いました。手土産にと嫁ぎ先の石垣島から持つてきてくれた地酒(焼酎)をいただきながら、青年教師と女子高生にタイムスリップしていました。

ありがとうございました

酒井先生



退職された、前教頭の酒井脩一先生に感謝する会が七月七日に旧・現教職員、同窓生合わせて百三十名が集い、東京第一ホテル米沢で行われました。先生が担任された五つの学年の卒業生、顧問された山岳部の卒業生、是非参加したいという卒業生もいて、予定よりも大勢の方が集まりました。誠実でやさしく、飾らない先生のお人柄や木訥でユーモアを交えた語り口は今も健在で、会場を笑いで沸かせ、和やかで賑やかな会にしていただきました。新たな人生の御健勝と御多幸をお祈りいたし



平成十九年一月二十八日に米沢市のグランドホクヨウにて、九里学園高等学校陸上競技部「連続三十年 インターハイ出場を祝う会」が保護者会、タンボボ会(OG会)、学校、主催で開催されました。監督本田米子先生とコーチである旦那様(東北高校元副校長)との二人三脚でなしえた偉業は、昭和五十二年から今日まで今もなお、後輩たちの目標として引き継がれています。七十三名の陸上部卒業生が集まり、総勢二十四名が心から感謝する素晴らしい会となりました。



**加藤孝次郎先生
御逝去(満八十六歳)**

去る十八年七月二十三日、元教頭、そして副校長であられた加藤孝次郎先生が逝去されました。先生は、昭和二十一年～六十二年までの四十年間、九里学園に勤務されました。思えば実験をともなう授業のときは必ず、予備実験をされてから授業にむかわれる、自分に厳しい先生でした。高くて歯切れのいい声は、体育館でもマイクなしで後ろまで届き驚いたものです。先生から沢山の励ましを受けました。

心から御冥福をお祈りいたします。

**加藤孝次郎先生
御逝去(満八十六歳)**

記念音楽会「中島啓江コンサート」チケットは、音楽会係の同窓生か、学校事務局からお求め下さい。

編集後記

同窓会報は、今回で50号になりました。終戦直後から発行され、当時から料理教室など、活発な活動報告がのっていました。

編集委員一同、「同窓生みんなの元気が出る会報に」という気持ちで頑張りたいと思っています。どうか沢山の情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

記念音楽会 2007.9.13
中島啓江
コンサート

「千の風になって」他

●指定券 5,000円 ●一般券 4,000円 ●学生券(小・中・高) 3,000円

会報は同窓生の方々の手で地区毎、配布していただいております。川西・高畠・南陽の方で地区配布をしていただける方を募っています。ご協力をいただける方どうか御連絡を下さいますよう、お願ひ致します。

